



## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月9日

上場会社名 ロート製薬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4527 URL https://www.rohto.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 山田 邦雄  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長 (氏名) 斉藤 雅也 (TEL) 06-6758-8223  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	40,638	13.4	5,061	47.4	5,292	47.1	3,440	51.2
2018年3月期第1四半期	35,837	9.0	3,433	54.9	3,598	48.0	2,275	65.7

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 4,211百万円(66.2%) 2018年3月期第1四半期 2,533百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	30.20	30.07
2018年3月期第1四半期	19.98	19.89

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	198,191	131,249	65.6
2018年3月期	198,166	128,440	64.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 130,004百万円 2018年3月期 127,124百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年3月期の連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	11.00	—	12.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	176,000	2.5	19,500	2.2	19,600	4.0	11,900	28.1	104.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2019年3月期1Q	117,980,805株	2018年3月期	117,936,284株
2019年3月期1Q	4,018,884株	2018年3月期	4,018,851株
2019年3月期1Q	113,928,547株	2018年3月期1Q	113,916,916株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、緩やかな回復基調が続くものの、原油高による原材料費の上昇や人手不足による人件費の上昇に加え、世界的な貿易摩擦問題が懸念材料となっており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは顧客志向の新製品開発やマーケティング活動により新規分野への展開を図るとともに、既存分野におきましても消費者ニーズの変化に対応した高付加価値の製品を開発し、市場の活性化に努めてまいりました。

その結果、売上高は406億3千8百万円（前年同期比 13.4%増）となりました。日本においては、高付加価値品が好調なことに加え、日やけ止め「スキンアクアトーンアップUVエッセンス」など新製品が順調に推移いたしました。さらに、インバウンド需要も寄与しております。海外においてもアジアでの回復傾向が継続しており、アメリカやヨーロッパも増収に寄与いたしました。

利益面につきましては、新規分野への先行投資が継続しているものの、売上高が好調に推移したことに加え販売費及び一般管理費の効率的活用に努めました結果、営業利益は50億6千1百万円（同 47.4%増）、経常利益は52億9千2百万円（同 47.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億4千万円（同 51.2%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (日本)

外部顧客への売上高は、259億2千7百万円（前年同期比 11.2%増）となりました。

主力のスキンケア関連品は、高機能眼科用薬「Vロートアクティブプレミアム」が好調なことに加え、美少女战士セーラームーンとコラボレーションした「ロートリセ」シリーズも順調に推移いたしました。スキンケア関連品につきましても、高付加価値品の「オバジC 酵素洗顔パウダー」などが引き続き好調でありました。さらに、気温が全国的に高いこともあり日やけ止めの新製品「スキンアクアトーンアップUVエッセンス」などが好調で、「メラノCC 薬用しみ集中対策美容液」などインバウンド需要の伸びも増収に寄与いたしました。また、内服関連品は、漢方・生薬ブランド「和漢箋」から新発売された、皮下脂肪が多く便秘がちな方の肥満症に効く「新・ロート防風通聖散錠ZII」などが増収に寄与いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が好調に推移したことに加え販売費及び一般管理費の効率的活用に努めました結果、28億3千4百万円（同 45.1%増）となりました。

#### (アメリカ)

外部顧客への売上高は、21億7千7百万円（前年同期比 29.2%増）となりました。

米国経済が個人消費の堅調な推移により緩やかな回復基調にあることや前連結会計年度に発売した「ロートドライエイド」など目薬が好調に推移したことに加え、前連結会計年度末より新たに連結したブラジルのオフサルモス社も増収に寄与しております。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が好調に推移したことにより、4千3百万円の損失（前年同期のセグメント損失は1億1千万円）となりました。

#### (ヨーロッパ)

外部顧客への売上高は、21億3千4百万円（前年同期比 11.7%増）となりました。

主力の消炎鎮痛剤「ディープヒート」シリーズが堅調に推移しており、ダクス・コスメティクス社も増収に寄与いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が好調に推移したことにより、1億5千1百万円（同 14.5%増）となりました。

(アジア)

外部顧客への売上高は、98億7千4百万円（前年同期比 17.3%増）となりました。

売上につきましては、日やけ止めが好調なことに加え、目薬も堅調に推移しております。国別では、中国の売上が回復してきたことに加えインドネシアなどASEAN諸国も堅調に推移いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が好調に推移したことに加え広告費及び販売促進費の効率的活用に努めたことにより、19億1千7百万円（同 45.5%増）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客への売上高は、5億2千4百万円（前年同期比 2.3%増）となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、3千2百万円（同 19.2%減）となりました。

（注）上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は1,981億9千1百万円となり、前連結会計年度末より2千5百万円増加いたしました。これは、商品及び製品が24億5千8百万円、現金及び預金が21億8千3百万円、投資有価証券が20億9千2百万円、原材料及び貯蔵品が12億9百万円それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が56億6千3百万円、電子記録債権が26億1千4百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債総額は669億4千2百万円となり、前連結会計年度末より27億8千3百万円減少いたしました。これは、支払手形及び買掛金が16億1千7百万円増加した一方、未払費用が20億7千万円、賞与引当金が11億9千8百万円、売上割戻引当金が8億8千万円、未払法人税等が8億3百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては1,312億4千9百万円となり、前連結会計年度末より28億8百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が21億8千7百万円、その他有価証券評価差額金が6億2千2百万円、為替換算調整勘定が1億4千6百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度末との比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、おおむね計画通りに推移しているため、2018年5月11日に公表いたしました通期の業績予想は変更しておりません。

※上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,532	32,716
受取手形及び売掛金	37,042	31,379
電子記録債権	13,305	10,690
商品及び製品	14,918	17,376
仕掛品	2,620	2,972
原材料及び貯蔵品	8,690	9,900
その他	3,322	3,399
貸倒引当金	△383	△345
流動資産合計	110,050	108,091
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,547	20,360
その他（純額）	26,645	26,726
有形固定資産合計	47,193	47,087
無形固定資産		
のれん	1,503	1,404
その他	2,604	2,482
無形固定資産合計	4,108	3,887
投資その他の資産		
投資有価証券	32,328	34,420
その他	7,049	7,408
貸倒引当金	△2,562	△2,703
投資その他の資産合計	36,815	39,125
固定資産合計	88,116	90,100
資産合計	198,166	198,191
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,098	13,715
電子記録債務	2,974	3,339
短期借入金	4,151	4,662
未払費用	24,599	22,528
未払法人税等	3,827	3,024
賞与引当金	2,285	1,086
役員賞与引当金	30	10
返品調整引当金	696	695
売上割戻引当金	2,742	1,862
その他	7,926	7,449
流動負債合計	61,332	58,374

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,702	1,618
退職給付に係る負債	3,968	3,953
債務保証損失引当金	1,491	1,491
その他	1,231	1,505
固定負債合計	8,393	8,568
<b>負債合計</b>	<b>69,725</b>	<b>66,942</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	6,415	6,441
資本剰余金	5,737	5,614
利益剰余金	112,696	114,883
自己株式	△4,935	△4,935
株主資本合計	119,915	122,004
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	8,220	8,843
為替換算調整勘定	463	609
退職給付に係る調整累計額	△1,474	△1,452
その他の包括利益累計額合計	7,209	8,000
新株予約権	560	508
非支配株主持分	755	736
純資産合計	128,440	131,249
<b>負債純資産合計</b>	<b>198,166</b>	<b>198,191</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	35,837	40,638
売上原価	15,685	16,729
売上総利益	20,151	23,908
返品調整引当金戻入額	60	1
差引売上総利益	20,211	23,909
販売費及び一般管理費	16,777	18,848
営業利益	3,433	5,061
営業外収益		
受取利息	55	77
受取配当金	180	208
その他	168	65
営業外収益合計	404	352
営業外費用		
支払利息	32	29
持分法による投資損失	170	42
その他	35	49
営業外費用合計	239	121
経常利益	3,598	5,292
特別損失		
投資有価証券評価損	2	121
関係会社株式評価損	0	—
貸倒引当金繰入額	80	80
特別損失合計	82	201
税金等調整前四半期純利益	3,515	5,090
法人税等	1,235	1,640
四半期純利益	2,279	3,450
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,275	3,440



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	2,279	3,450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	659	569
為替換算調整勘定	△375	242
退職給付に係る調整額	27	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△58	△72
その他の包括利益合計	253	760
四半期包括利益	2,533	4,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,542	4,229
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	△18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	23,309	1,684	1,911	8,419	35,324	512	35,837	—	35,837
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	602	223	4	606	1,436	21	1,457	△1,457	—
計	23,911	1,908	1,916	9,025	36,761	533	37,295	△1,457	35,837
セグメント利益 又は損失(△)	1,953	△110	132	1,317	3,293	40	3,333	100	3,433

- (注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。
- 3 セグメント利益又は損失(△)の調整額100百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	25,927	2,177	2,134	9,874	40,113	524	40,638	—	40,638
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	879	182	2	736	1,801	17	1,819	△1,819	—
計	26,807	2,359	2,137	10,611	41,915	542	42,458	△1,819	40,638
セグメント利益 又は損失(△)	2,834	△43	151	1,917	4,859	32	4,891	169	5,061

- (注) 1 「アメリカ」の区分は米国、ブラジル等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。
- 3 セグメント利益又は損失(△)の調整額169百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。